

サプライチェーンは簡素化する だけでなくスマート化を実現する 時ではありませんか？

グローバル化とサプライチェーンの複雑さが増す中、
サプライチェーンの回復力と競争力を高めるために
サプライチェーンを常に評価し継続的に進化させて
いく必要があります。

概要 – 化学品製造会社様の事例

課題

日本に拠点を置く化学品製造会社A様は、何年もの間、サプライチェーン戦略を見直していませんでした。パフォーマンス評価を実施したところ、サプライチェーンネットワークが非効率的で、物流コストが過小評価されていることが明らかになりました。

ソリューション

輸送ネットワークモデリングツールを活用し、物流拠点の配置場所について複数の改善モデルを作成し、現状と比較したコスト削減効果を試算しました。さらに、お客様のビジネスの効率性を高めるために、さまざまな4PL・リードロジスティクスプロバイダー（LLP）サービスを提案しました。

導入効果

お客様の優先事項を明確に理解し、さまざまな角度から高度なシミュレーションとモデリングを実施することで、拠点配置の複数のシナリオのコスト削減効果を立証し、最適モデルを導き出しました。

オプション	コスト削減率
ベースライン	-
ベースラインを最適化した場合	3.7%
2 DCにした場合	7.3%
3 DCにした場合	18.2%

DC = 配送センター

18%

3 DCにした場合の
物流コスト削減率

お客様が抱えていた課題

日本に拠点を置く化学品製造会社A様は、何年もの間、サプライチェーン戦略を見直していませんでした。サービスレベルとコストの観点から目的は達成されており、見直しを行っても大幅なコスト削減にはつながらないと考えていたため、サプライチェーン戦略の再設計が喫緊の課題であることに気付いていませんでした。

当社がパフォーマンス評価を実施したところ、サプライチェーンネットワークが非効率的で、物流コストが過小評価されていることが明らかになりました。よりスマートなサプライチェーンを構築する必要に迫られていました。



サプライチェーンの見直しを行わない場合のリスク

情報の分断、
データのサイロ化によるタイムリーな可視性の欠如

業務コストと
遅延リスクの
増加

マニュアル作業の増加に伴う必要なリソースの増加

当社のソリューション

輸送ネットワークモデリングツールを活用し、物流拠点の配置場所について複数の改善モデルを作成し、現状と比較したコスト削減効果を試算しました。さらに、お客様のビジネスの効率性を高めるために、さまざまな4PL・リードロジスティクスプロバイダー（LLP）サービスを提案しました。



輸送ルートの最適化

郵船ロジスティクスのグローバルネットワークを生かした効率的な輸送ルートを導き出し、トータルの輸送コストの削減を実現します。



ソリューションと提案設計

経験と強みを生かした多角的でデータに基づく説得力のあるソリューションベースの提案を作成します。



輸配送の最適化

過去の輸配送データを分析し、輸配送経路や輸送頻度の改善箇所を特定します。



情報分析とデータマイニング

データに基づくインサイトとパフォーマンス分析でビジネスの発展を支援します。



物流施設の最適化

さまざまなサプライチェーン診断ツールを使って、投資収益率を最大化する拠点配置を提案します。

導入効果

サプライチェーンの全体像を見ることが成功の秘訣です。

お客様の優先事項を明確に理解し、さまざまな角度から高度なシミュレーションとモデリングを実施することで、拠点配置の複数のシナリオのコスト削減効果を立証し、最適モデルを導き出しました。

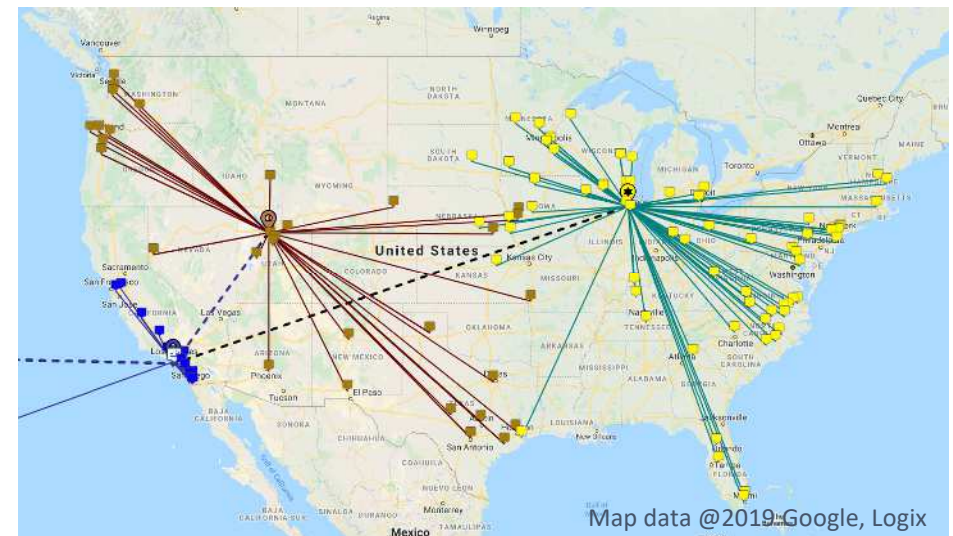
オプション	コスト削減効果
ベースライン	-
ベースラインを最適化した場合	3.7%
2 DCにした場合	7.3%
3 DCにした場合	18.2%

DC = 配送センター

18%

3 DCにした場合の
物流コスト削減率

- コストとマーケット投入のスピードを比較検討した、最適な拠点数と配置場所の提案
- 需要に応じた配送の合理化
- 輸出と輸入の輸配送の分散化による効率化
- 物流コストと納品リードタイム、カーボンフットプリントのトレードオフの分析と評価



最適化した物流拠点ネットワーク